



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場会社名 丸一鋼管株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5463 URL http://www.maruichikokan.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼CEO(氏名) 鈴木 博之
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理部長(氏名) 河村 康生 (TEL) 06-6531-1201
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	65,809	△11.4	12,217	62.0	12,852	49.5	6,994	6.2
28年3月期第2四半期	74,317	△1.1	7,542	△20.1	8,595	△16.0	6,584	△3.8

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 3,085百万円(-%) 28年3月期第2四半期 △1,075百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	84.53	84.45
28年3月期第2四半期	78.26	78.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	285,970	240,554	81.0
28年3月期	294,871	241,878	78.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 231,519百万円 28年3月期 232,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	25.00	—	52.00	77.00
29年3月期	—	25.00			
29年3月期(予想)			—	56.00	81.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,900	△6.9	23,700	39.2	24,500	29.3	15,100	35.0	182.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	94,000,000株	28年3月期	94,000,000株
29年3月期2Q	11,255,442株	28年3月期	11,255,369株
29年3月期2Q	82,744,597株	28年3月期2Q	84,134,279株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公共投資や住宅投資が堅調であった半面、円高の影響から輸出が減少するなど一進一退の状況が続きました。一方、海外では、米国経済は企業業績、雇用や個人消費などの回復傾向が持続しましたが、英国のEU離脱時期、中国景気の減速及び米国大統領選挙の影響など、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

鉄鋼業界は、国内需要は上期を通じて低調に終わりました。一方、海外は中国の一時的な減産や米国をはじめとする鉄鋼製品の輸入制限措置などで、昨年を通じて大幅に値下がりが続けた市況も今年年初より値上げ基調に転じました。但し、今年度下期は地域セグメントにより状況の異なりが見られます。

(日本)

国内事業につきましては、熊本震災等の影響により自動車向けは低調でありましたが、第2四半期では製品の販売総数量は前年比若干のプラスに転じました。一方、国内外高炉のコイル価格の値上げ圧力は強く、製品価格値上げに鋭意取り組みましたが、上期の需要は低調で建材市況が軟化する状況下での値上げは難しく、現状維持が精一杯でありました。以上により、前年比販売単価の大幅減もあり国内事業の売上高は419億8千5百万円（前年同期比8.7%減）となりました。一方、昨年は原材料の値上がりで悪化したセグメント利益は91億5千7百万円（前年同期比17.9%増）と一昨年レベルに回復いたしました。

(北米)

北米事業につきましては、マルイチ・レビット・パイプ・アンド・チューブLLC社の前年比の販売数量の減少と価格低下などにより、売上高は118億6千8百万円（前年同期比12.1%減）と減少いたしました。同社の償却費負担の減少や、米国のアンチダンピング関税措置の影響による急激な市場価格のアップにより、他の連結子会社を含めたセグメント利益は13億6千3百万円（前年同期はセグメント損失7億6百万円）と黒字転換いたしました。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムのマルイチ・サン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー（SUNSCO社）では、ベトナム市場及び輸出市場の競争激化から前年比で販売数量の減少と価格低下のため、売上高は119億5千6百万円（前年同期比19.3%減）と減少いたしました。中国の一時的な減産による値上げにより東南アジアの鋼材市況が回復し、セグメント利益は16億4千6百万円（前年同期比321.9%増）と増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は658億9百万円（前年同期比11.4%減）、営業利益は122億1千7百万円（前年同期比62.0%増）、経常利益は128億5千2百万円（前年同期比49.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は69億9千4百万円（前年同期比6.2%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の前年同期比伸び率が営業利益及び経常利益の伸び率より低くなっておりませんが、親会社において投資有価証券評価損を16億5千4百万円計上したことによるものです。

なお、対米ドル換算レートは1米ドル111円81銭であります。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,859億7千万円（前年度比89億円の減少）となりました。

主な内容は、流動資産については、譲渡性預金が満期になったことにより有価証券が212億6千9百万円減少し、現金及び預金が217億3千2百万円増加いたしました。また、原材料及び貯蔵品が12億1千4百万円、製品が10億円減少したことなどにより流動資産合計で27億6千8百万円減少いたしました。固定資産については、株式市場の時価下落により投資有価証券が22億1千2百万円減少し、固定資産合計で61億3千1百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は454億1千6百万円（前年度比75億7千6百万円の減少）となりました。

主な内容は、短期借入金が26億2千2百万円、支払手形及び買掛金が24億1千5百万円減少したことにより、流動負債合計で57億6千7百万円減少いたしました。固定負債については、長期借入金が19億8千5百万円減少したことにより、固定負債合計で18億8百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,405億5千4百万円（前年度比13億2千4百万円の減少）となりました。

主な内容は、利益剰余金は、配当金の支払43億2百万円に対して、親会社株主に帰属する四半期純利益69億9千4百万円などにより26億9千1百万円増加、その他有価証券評価差額金が12億1千1百万円増加いたしました。為替換算調整勘定が45億7千7百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月5日に公表いたしました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別の今後の見通しについては、以下のとおりです。

(日本)

国内事業につきましては、8月頃から一部の建築向け製品が前期対比プラスに転じておりますが、景気の先行き不透明感から本格的な需要回復には至っておりませんが、今後本格化するであろうオリンピック関連の建築需要の取り込みに注力してまいります。販売価格に関しては、先行して値上がりしたコイル価格の製品への転嫁を早期に完遂するよう注力してまいります。

(北米)

北米事業につきましては、アンチダンピング関税措置の発動の影響で急上昇した鋼材価格が、6月をピークにして反転下落しており、年末に向けて問屋の在庫圧縮目的の買い控え指向も強まっており、価格面、数量面共に厳しい状況になっております。又、コイル価格高騰時の値上がり幅を製品価格に完全に転嫁できていないことから、全力で製品価格の維持に注力してまいります。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムSUNSCO社では、高品質な製品を供給することで、ベトナム国内及び近隣国への販売体制の強化を図ってまいります。また、メッキコイル及びカラーコイルの米国向け輸出にも注力してまいります。インドのマルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッドでは、径の大きい4インチの薄肉造管機を9月に設置いたしました。大型車の排ガス規制に対応した排気管の需要への対応に努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間における四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,279	87,012
受取手形及び売掛金	30,643	30,089
有価証券	25,064	3,795
製品	8,986	7,985
原材料及び貯蔵品	13,540	12,326
その他	4,464	4,001
貸倒引当金	△28	△28
流動資産合計	147,951	145,182
固定資産		
有形固定資産		
土地	32,717	32,414
その他	52,114	48,977
有形固定資産合計	84,832	81,392
無形固定資産		
のれん	873	704
その他	1,295	1,074
無形固定資産合計	2,168	1,778
投資その他の資産		
投資有価証券	56,823	54,611
その他	3,096	3,005
投資その他の資産合計	59,919	57,617
固定資産合計	146,920	140,788
資産合計	294,871	285,970

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,857	15,442
短期借入金	9,301	6,679
未払法人税等	4,127	3,224
賞与引当金	861	929
役員賞与引当金	70	40
その他	6,076	6,210
流動負債合計	38,294	32,526
固定負債		
長期借入金	8,500	6,514
役員退職慰労引当金	77	64
退職給付に係る負債	3,093	3,120
繰延税金負債	2,794	2,960
その他	232	229
固定負債合計	14,698	12,889
負債合計	52,992	45,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,595	9,595
資本剰余金	15,821	15,821
利益剰余金	228,340	231,032
自己株式	△26,963	△26,963
株主資本合計	226,794	229,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,580	5,792
為替換算調整勘定	889	△3,688
退職給付に係る調整累計額	△77	△69
その他の包括利益累計額合計	5,392	2,033
新株予約権	122	144
非支配株主持分	9,569	8,890
純資産合計	241,878	240,554
負債純資産合計	294,871	285,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	74,317	65,809
売上原価	60,293	47,388
売上総利益	14,023	18,421
販売費及び一般管理費	6,480	6,204
営業利益	7,542	12,217
営業外収益		
受取利息	112	115
受取配当金	771	438
持分法による投資利益	235	301
不動産賃貸料	273	280
その他	103	213
営業外収益合計	1,496	1,348
営業外費用		
支払利息	179	134
為替差損	12	376
不動産賃貸費用	150	166
その他	100	36
営業外費用合計	443	713
経常利益	8,595	12,852
特別利益		
固定資産売却益	77	12
投資有価証券売却益	1,872	—
受取保険金	—	185
その他	1	—
特別利益合計	1,951	198
特別損失		
固定資産除却損	10	29
投資有価証券評価損	—	1,654
その他	1	199
特別損失合計	12	1,883
税金等調整前四半期純利益	10,534	11,166
法人税等	4,045	3,554
四半期純利益	6,489	7,611
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△94	617
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,584	6,994

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	6,489	7,611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,583	299
為替換算調整勘定	301	△4,575
退職給付に係る調整額	22	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△304	△263
その他の包括利益合計	△7,564	△4,526
四半期包括利益	△1,075	3,085
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,057	3,635
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	△549

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,995	13,504	14,817	74,317	—	74,317
セグメント間の 内部売上高又は振替高	75	—	—	75	△75	—
計	46,071	13,504	14,817	74,392	△75	74,317
セグメント利益又は損失(△)	7,767	△706	390	7,451	91	7,542

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額91百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,985	11,868	11,956	65,809	—	65,809
セグメント間の 内部売上高又は振替高	603	—	—	603	△603	—
計	42,588	11,868	11,956	66,413	△603	65,809
セグメント利益	9,157	1,363	1,646	12,167	50	12,217

(注) 1. セグメント利益の調整額50百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。